

ネオスタット™

室内用温度調節器 形TY600*Z、形TTY6023Z、形TY900*Z 室内用湿度調節器 形HY6000Z

■ 概 要

ネオスタットは、電気式の室内用温度、湿度調節器であり、電子式の室内用検出器ネオセンサ™と協調デザイン、寸法となっています。

温度調節器に感温ダイヤフラムを使用し、湿度調節器に感湿ナイロンリボンを使用した調節器です。



■ 特 長

- 本器を操作器と接続するだけで、簡単に温湿度制御が実現できます。
- 小型(薄型)・軽量です。
- 別途手配品の補助機器の使用により、取付方法が選択できます。

安全上の注意

ご使用前に本説明書をよくお読みのうえ、仕様範囲内で使用目的を守って、正しくお使いください。お読みになったあとは、本説明書をいつでも見られる所に必ず保管し、必要に応じ再読してください。

使用上の制限、お願い

本製品は、一般機器での使用を前提に、開発・設計・製造されています。

本製品の働きが直接人命にかかわる用途および、原子力用途における放射線管理区域内では、使用しないでください。一般空調制御用として本製品を放射線管理区域で使用する場合は、弊社担当者にお問い合わせください。

特に ・人体保護を目的とした安全装置 ・輸送機器の直接制御(走行停止など) ・航空機 ・宇宙機器など、安全性が必要とされる用途に使用する場合は、フェールセーフ設計、冗長設計および定期点検の実施など、システム・機器全体の安全に配慮した上で、ご使用ください。

システム設計・アプリケーション設計・使用方法・用途などについては、弊社担当者にお問い合わせください。

なお、お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、ご了承ください。

■ 設計推奨使用期間について

本製品については、設計推奨使用期間を超えない範囲でのご使用をお勧めします。

設計推奨使用期間とは、設計上お客様が安心して製品をご使用いただける期間を示すものです。

この期間を超えると、部品類の経年劣化などから製品故障の発生率が高まることが予想されます。

設計推奨使用期間は、弊社にて、使用環境・使用条件・使用頻度について標準的な数値などを基礎に、加速試験、耐久試験などの科学的見地から行われる試験を行って算定された数値に基き、経年劣化による機能上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期までの期間です。

本製品の設計推奨使用期間は、11年です。

■ 「警告」と「注意」



警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。



注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

■ 絵表示



記号は、危険の発生を回避するために特定の行為を禁止する場合に表示(左図は分解禁止の例)。



記号は、危険の発生を回避するために特定の行為を義務付けする場合に表示(左図は一般指示の例)。

⚠ 警告



結線・設定・保守作業は、給電元の電源を切った状態で行ってください。感電や故障のおそれがあります。



結線・設定・保守作業後は、カバーを元に戻してください。カバーをしないと、感電のおそれがあります。

⚠ 注意



本製品は、本説明書に記載された仕様範囲内で取り付け・結線し、運用してください。火災や故障のおそれがあります。



取り付けや結線は、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。施工を誤ると、火災や感電のおそれがあります。



配線については、電気設備技術基準、内線規程などに従って施工してください。施工を誤ると、火災のおそれがあります。



端子台に接続する場合は、絶縁被覆付き圧着端子を使用してください。絶縁被覆がないと、短絡して火災や故障のおそれがあります。



端子ねじは、規定のトルクで締めてください。締め付けが不完全だと、火災や発熱のおそれがあります。



本製品を分解しないでください。感電したり、故障するおそれがあります。

■ 形 番

● 温度調節器

形 番 ^{*1}	制御動作	設定範囲	冷暖切替スイッチ
TY6000Z2000	2位置式1段	10～30℃	なし
TY6001Z2000			付
TTY6023Z2000	2位置式2段		なし
TY9000Z2000			なし
TY9001Z2000	比例式 ^{*2}		付

● 湿度調節器

形 番 ^{*1}	制御動作	設定範囲
HY6000Z2000	2位置式	30～90%RH

*1 形番の末尾に「-1」を付加すると、社名ロゴなしの形番になります。

*2 比例式ネオスタットは、弊社操作器コントロールモータやアクティブアル™と接続して使用します。
それ以外の製品の接続可否については、弊社販売員にご確認ください。

● 別途手配品

ネオスタットは、別途手配の取付アダプタや補助機器などと組み合わせて使用できます。

項 目	形 番	備 考		
取付アダプタ	83172617-001	-----		
補助機器	個室制御用サーモプレート	QY1100A	スライドスイッチ切替	
		QY1100C	ロータリースイッチ切替	
		QY1100D		
	サーモプレート	DY2000A1022	1個用縦形	
		DY2000A1023	1個用横形	
		DY2000A2023	2個用横形、アウトレットボックス取付	
		DY2000A2024	2個用横形、スイッチボックス取付	
		DY2000A3022	3個用横形	
	配管接続形サーモプレート	DY2000A1021	1個用角形	・露出配線工事に使用します。
		DY2000A2021	2個用横形	
		DY2000A3021	3個用横形	
	マルチサーモケース	TY1100Z		
	養生カバー	83104506-020	10個入	

■仕様

項目		仕様				
動作すき間	形番TY600*Z 形番TTY6023Z	1.5±1℃、10～30℃において				
	形番HY6000Z	5±3%RH、30～90%RHにおいて				
段間温度差 (2位置式2段)	形番TTY6023Z	2±1℃固定、10～30℃において				
比例帯	形番TY900*Z	2±1℃固定、10～30℃において				
検出エレメント	温度調節器	感温ダイアフラム				
	湿度調節器	ナイロンリボン				
環境条件			定格動作条件		輸送・保管条件	
	形番TY600*Z 形番TTY6023Z 形番TY900*Z	周囲温度	0～50℃		－20～50℃	
		周囲湿度	10～90%RH (ただし、結露なきこと)		5～95%RH (ただし、結露なきこと)	
	形番HY6000Z	周囲温度	10～40℃		－20～50℃	
		周囲湿度	10～90%RH (ただし、結露なきこと)		5～95%RH (ただし、結露なきこと)	
	2位置式接点定格 *1、*3			AC125V	AC250V	DC24V
形番TY600*Z		常用	6A	3A	1A	
		起動	36A	18A	10A	
		抵抗負荷	6A	3A	2A	
形番TTY6023Z		常用	4A	2A	—	
		起動	18A	9A	—	
		抵抗負荷	4A	2A	—	
2位置式接点定格 *1、*2、*3				AC125V	AC250V	DC24V
		形番HY6000Z	常用	4.4A	2.2A	0.4A
	起動		26.4A	13.2A	2A	
	抵抗負荷		8A	4A	1A	
塗装色	ペールグレー (日本塗料工業会 BN-85 (2003年度版))					
主要部材質	カバー	PC樹脂				
	ベース	PC樹脂				
質量	約180g					
取付	別途手配品による取り付け					
接続	形番TY600*Z 形番TY900*Z 形番HY6000Z	端子台接続 締め付けトルク 0.785N・m				
	形番TTY6023Z	リード線接続				
付属部品	ネオスタット付属ねじ (M4、なべ小ねじ、L=10mm) 2本					

*1 接点の最小許容電流は、50mAです。

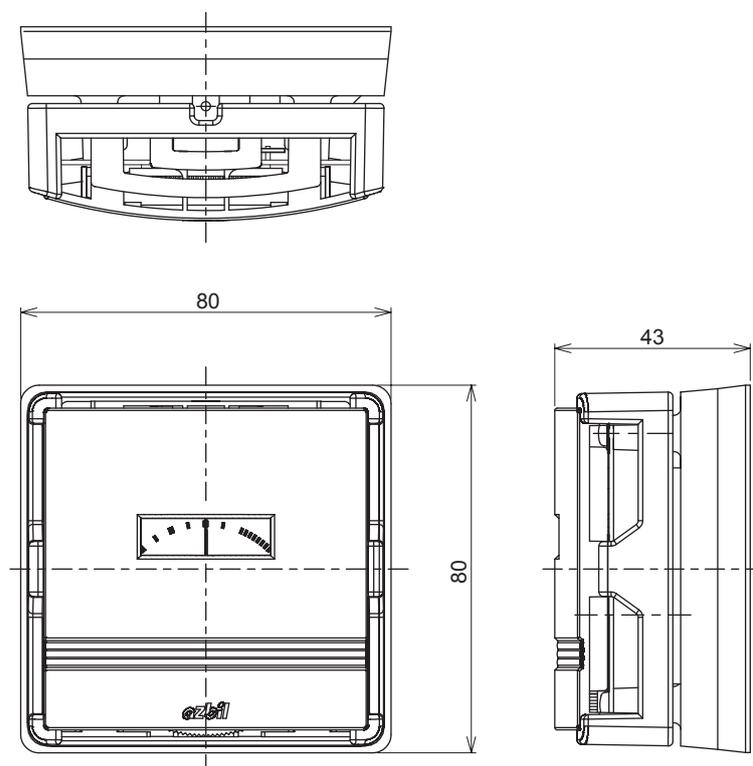
*2 形番HY6000Zを除湿器/加湿器に接続する場合の常用時と起動時の最大電流を表します。

*3 定格に対して余裕を持った負荷を使用してください。

定格より大きな負荷を接続すると、接点が溶着して出力が切り替わらなくなる場合があります。

■ 外形寸法

● 本体



* 取付時は、配線スペースを取り付け面から壁内に15mm以上確保してください。

図1 本体外形寸法 (mm)

● 取付アダプタ

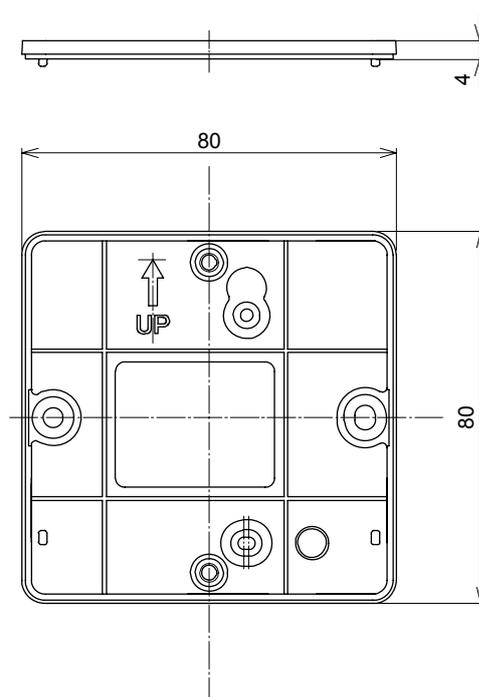


図2 取付アダプタ外形寸法 (mm)

■ 取 付

⚠ 注 意	
	本製品は、本説明書に記載された仕様範囲内で取り付けし、運用してください。火災や故障のおそれがあります。
	取り付けは、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。施工を誤ると、火災や感電のおそれがあります。

● 取付場所

重要!! ●ネオスタットの取付場所は、制御に関係する重要な要因のひとつです。十分に検討のうえ、取付場所を決めてください。

- 本製品を次のような特殊な環境で使用する場合は、弊社販売員にご相談ください。
 - 有機溶剤などの薬品雰囲気では、出力値がシフトするおそれがあります。
 - 腐食性ガスや有機溶剤などの被測定気体の成分が測定誤差や製品寿命の短縮、故障の原因となることがあります。
- 取付手順に記されたねじ以外を回さないでください。故障の原因となります。
- 本体を持つときは、ダイヤルつまみを持たず、ガイド板を持ってください。故障の原因となります。(参照)『図3』

本製品は、次のような壁面に取り付けてください。

- 居住空間の平均的な温湿度を示す(目安：床上約1.5m)ところ。
- 周囲の風速は、0.1~0.15m/s程度のところ。
- 前面にメンテナンスできるスペースがあるところ。

● 取付禁止場所

本製品は、次のような壁面に取り付けられないでください。

- OA機器の発熱などによる熱のふきだまりがあるところ。
- 家具やドアなどにより、空気の循環が妨げられるところ。
- すき間風、吹き降ろし、水管やダクトからの冷風、または温風の影響を受けるところ。
- 外気や日射の影響を受けやすいところ。
- 振動のあるところ。
- 本製品が結露するようなところ。
- 本製品に水滴が滴下するようなところ。
- 温水、蒸気、冷水配管から1m以内のところ。
- 腐食性ガスや有機溶剤などの薬品雰囲気があるところ。

- 薬品や油が付着するようなところ。付着した場合は、速やかに拭き取ってください。付着したままにすると、ケースにケミカルクラックが発生するおそれがあります。
- オイルミストなどを含む汚染環境(湿度調節器のみ)。
- ちりやほこりのかかる場所(漏電防止のため)。
- 室内設置以外の用途(外気、ダクト内には使用しないこと)。
- 天井面への直接水平取付。

● 施工時の注意

- 本製品の裏側に、配線スペースを確保してください。(参照)『図1』
- 用途に合わせた別途手配品の専用取付キットを使用してください。
- 本体内部に切り粉や電線くずが入らないようにしてください。
- 施工時は、取付面と本体との間にリード線を挟み込まないようにしてください。
- 施工時は、ダイヤルやリード線などに、無理な力を与えないでください。
- 本体がゆがみ故障したり、制御に影響を与えることがあります。
- 壁内のアウトレットボックスなどからセンサ裏面に空気の流入がある場合は、シール材などを使用し、空気の流れが発生しないようにしてください。
- ねじの締め忘れに注意してください。
- ねじは、仕様に記載されたトルクで締め付けてください。(参照)『●取付ねじの締め付けトルク一覧』
締め付けすぎによる破損、締め付け不良による脱落が生じるおそれがあります。
- カバーを外している間は、ダイヤフラムやナイロンリボンに触れないようにしてください。
- 設置後、ネオスタットを周囲の雰囲気十分に馴染ませてください。

● カバーの着脱

- 取り外し
本体上面内部のばね部を細棒などにより押し込んで、外します。
- 取付
本体下部にあるカバー取付穴(2か所)にカバー溝(2か所)を引っ掛け、本体上部のばね部で固定します。

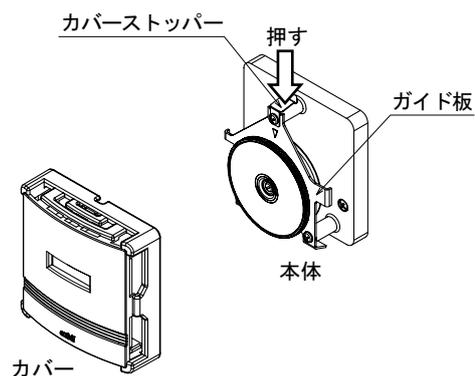


図3 カバーの着脱

● 取付ねじの締め付けトルク一覧

取付場面	取付対象	取付ねじ	締め付けトルク
壁直接取付・新規取付	ベースを取付ボックスカバーへ取り付け	ネオスタット付属ねじ	0.785N・m
	本体をベースに組み付け	本体取付ねじ	0.392N・m
壁直接取付・既設ネオスタットからの置き換え	取付アダプタを取付ボックスカバーへ取り付け	取付アダプタ付属ねじ	0.785N・m
	ベースを取付アダプタへ取り付け	取付アダプタ付属ねじ	0.785N・m
	本体をベースに組み付け	本体取付ねじ	0.392N・m
配管接続形サーモプレート取付	配管接続形サーモプレートへ取り付け	取付アダプタ付属ねじ	0.785N・m
	ベースを取付アダプタへ取り付け	取付アダプタ付属ねじ	0.785N・m
	本体をベースに組み付け	本体取付ねじ	0.392N・m
サーモプレート取付	ベースを取付アダプタへ取り付け	取付アダプタ付属ねじ	0.785N・m
	本体をベースに組み付け	本体取付ねじ	0.392N・m
マルチサーモケース取付	ベースを取付アダプタへ取り付け	取付アダプタ付属ねじ	0.785N・m
	本体をベースに組み付け	本体取付ねじ	0.392N・m

● 取付手順

《壁直接取付 新規取付の場合》

壁内の取付ボックスカバー(JIS C8340:1999アウトレットボックス用)の間隔66.7mmの穴が縦になるように取り付けます。

- (1) ネオスタットのカバーを外します。

(参照) 『● カバーの着脱』

- (2) 本体取付ねじを緩め、ガイド板を持って本体をベースから引き出します。
このとき、ダイヤルつまみを持って、本体を引き出さないでください。

- (3) ベースを取付ボックスカバーに「UPの矢印」が上を向くようにし、「ネオスタット付属のねじ 2本 (M4、なべ小ねじ、L=10mm)」で取り付けます。

- (4) 『■ 結線』に従って結線します。

- (5) 本体をベースに組み付け、本体取付ねじを締め付けます。

- (6) ネオスタットのカバーを本体に、取り付けます。

(参照) 『● カバーの着脱』

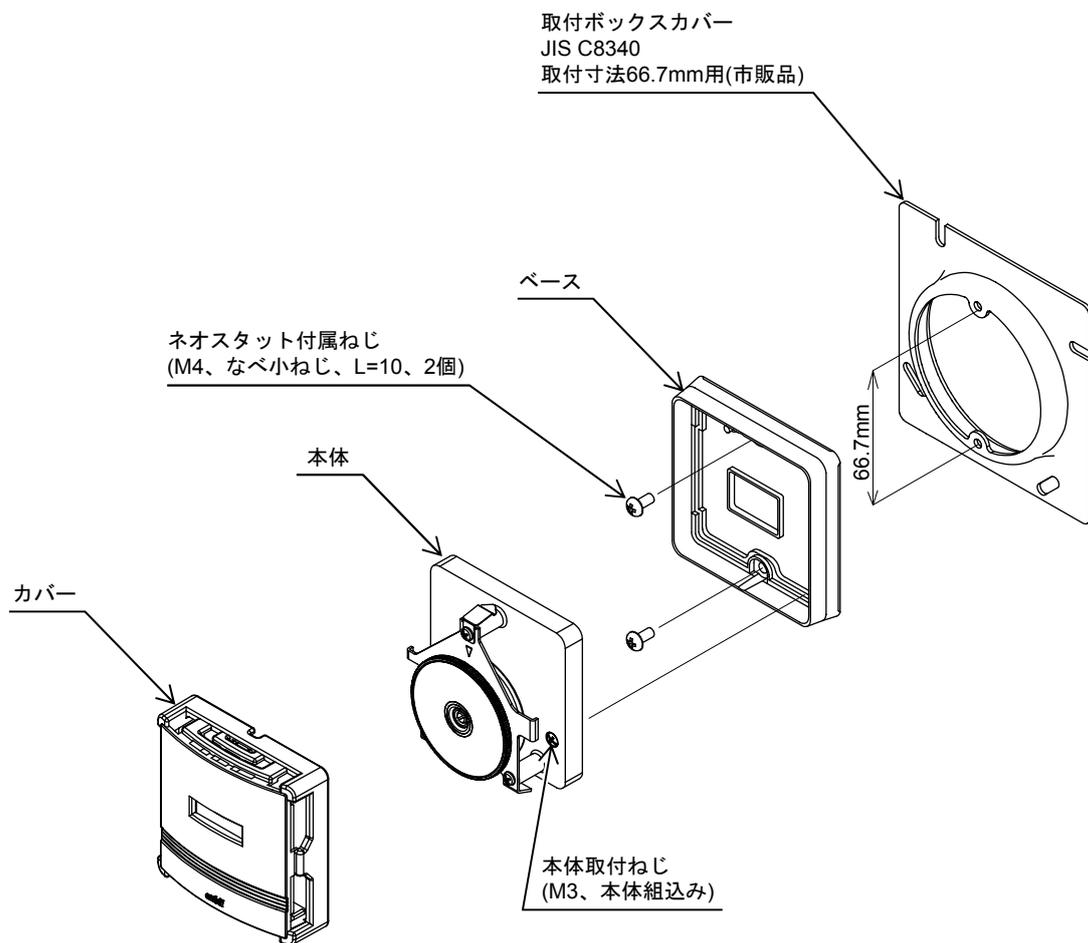


図4 壁直接取付(新規取付の場合)

《壁直接取付 既設ネオスタットからの置き換えの場合》

壁内の取付ボックスカバー(JIS C8340:1999アウトレットボックス用)の間隔66.7mmの穴が横に並んでいるため、取付アダプタ(形番83172617-001)を使用して取り付けます。

- (1) ネオスタットのカバーを外します。
(参照)『●カバーの着脱』
- (2) 本体取付ねじを緩め、ガイド板を持って本体をベースから引き出します。
このとき、ダイヤルつまみを持って、本体を引き出さないでください。
- (3) 取付アダプタを取付ボックスカバーに「UPの矢印」が上を向くようにし、取付アダプタ付属のねじ 2本(M4、皿ねじ、L=10mm)で取り付けます。
- (4) ベースを取付アダプタに「UPの矢印」が上を向くように、取付アダプタ付属のねじ 2本(M4、なべ小ねじ、L=6mm)で取り付けます。
* ネオスタット付属のねじ(M4、なべ小ねじ、L=10mm)は、使用しないでください。
- (5) 『■結線』に従って結線します。
- (6) 本体をベースに組み付け、本体取付ねじを締め付けます。
- (7) ネオスタットのカバーを本体に、取り付けます。
(参照)『●カバーの着脱』

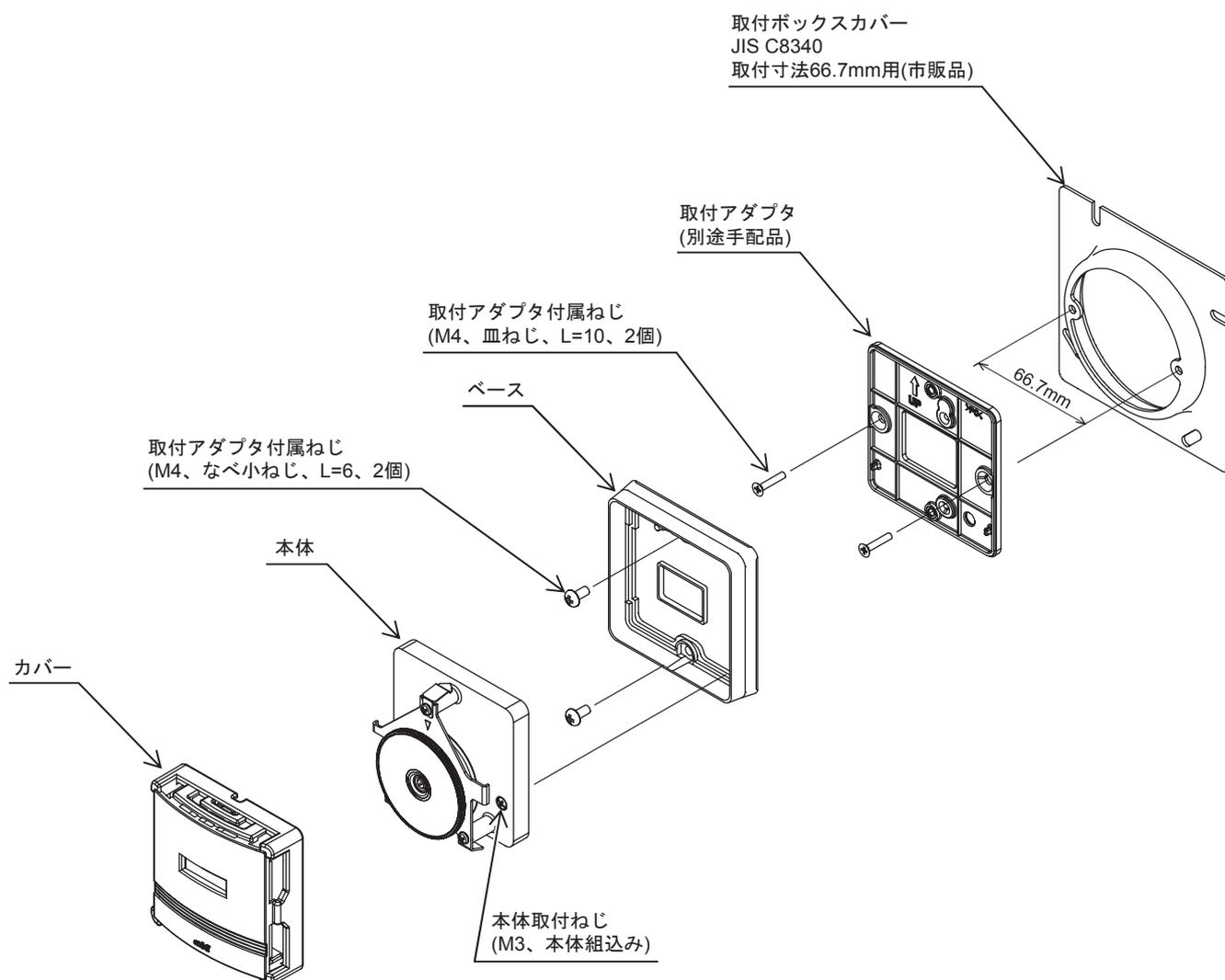


図5 壁直接取付(既設ネオスタットからの置き換えの場合)

「配管接続形サーモプレート取付」

- (1) ネオスタットのカバーを外します。
(参照) 『● カバーの着脱』
- (2) 本体取付ねじを緩め、ガイド板を持って本体をベースから引き出します。
このとき、ダイヤルつまみを持って、本体を引き出さないでください。
- (3) 取付アダプタを配管接続形サーモプレートに「UPの矢印」が上を向くようにし、取付アダプタ付属のねじ 2本(M4、皿ねじ、L=10mm)で取り付けます。
- (4) ベースを取付アダプタに「UPの矢印」が上を向くようにし、「取付アダプタ付属のねじ 2本(M4、なべ小ねじ、L=6mm)」で取り付けます。
* ネオスタット付属のねじ(M4、なべ小ねじ、L=10mm)は、使用しないでください。
- (5) 『■ 結線』に従って結線します。
- (6) 本体をベースに組み付け、本体取付ねじを締め付けます。
- (7) ネオスタットのカバーを本体に、取り付けます。
(参照) 『● カバーの着脱』

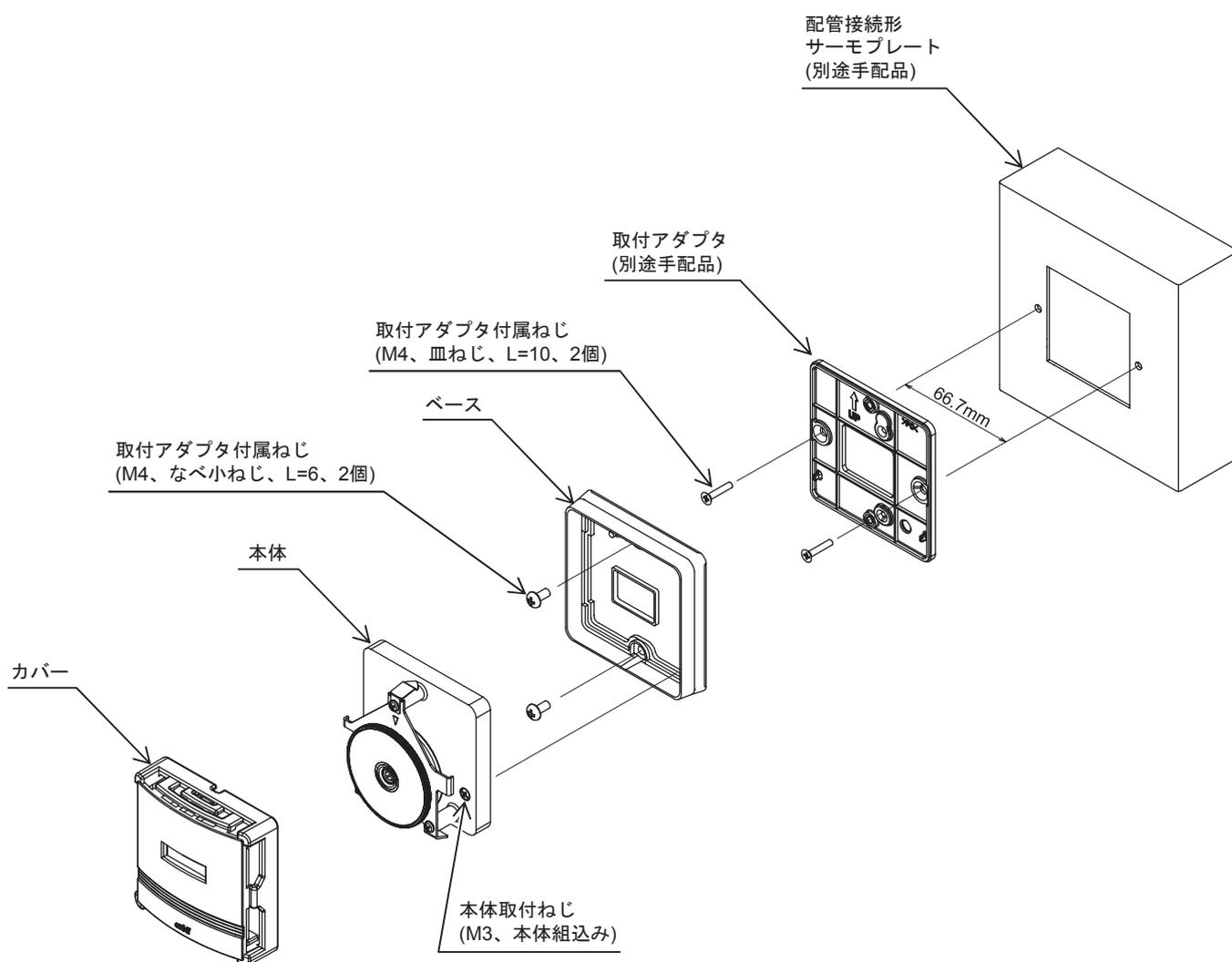


図6 配管接続形サーモプレート取付

«サーモプレート取付»

- (1) サーモプレート付属の取付プレートを壁内の取付ボックスカバー(JIS C8340:1999スイッチボックス用取付寸法83.5mm)にサーモプレート付属のねじ 2本(M4、なべ小ねじ、L=8mm)で取り付けます。
- (2) サーモプレートを取付プレートにサーモプレート付属のねじ 2本(M3、なべ小ねじ、L=5mm)で取り付けます。

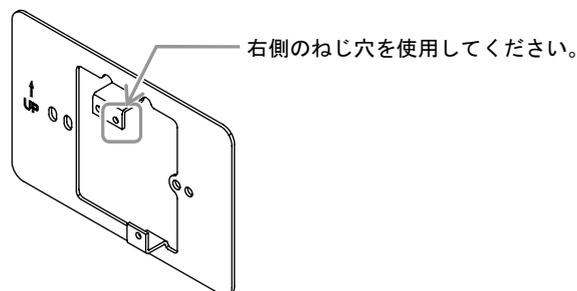


図7 取付プレート取付

* 上ねじの位置に気を付けてください。

- (3) 取付アダプタをサーモプレートに「UPの矢印」が上を向くようにし、サーモプレート付属ねじ 2本(M2.6、皿頭タッピングねじ、L=8mm)で取り付けます。
- (4) ネオスタットのカバーを外します。
(参照)『●カバーの着脱』
- (5) 本体取付ねじを緩め、ガイド板を持って本体をベースから引き出します。
このとき、ダイヤルつまみを持って、本体を引き出さないでください。
- (6) ベースを取付アダプタに「UPの矢印」が上を向くようにし、「取付アダプタ付属のねじ 2本(M4、なべ小ねじ、L=6mm)」で取り付けます。
* ネオスタット付属のねじ(M4、なべ小ねじ、L=10mm)は、使用しないでください。
- (7) 『■結線』に従って結線します。
- (8) 本体をベースに組み付け、本体取付ねじを締め付けます。
- (9) ネオスタットのカバーを本体に、取り付けます。
(参照)『●カバーの着脱』

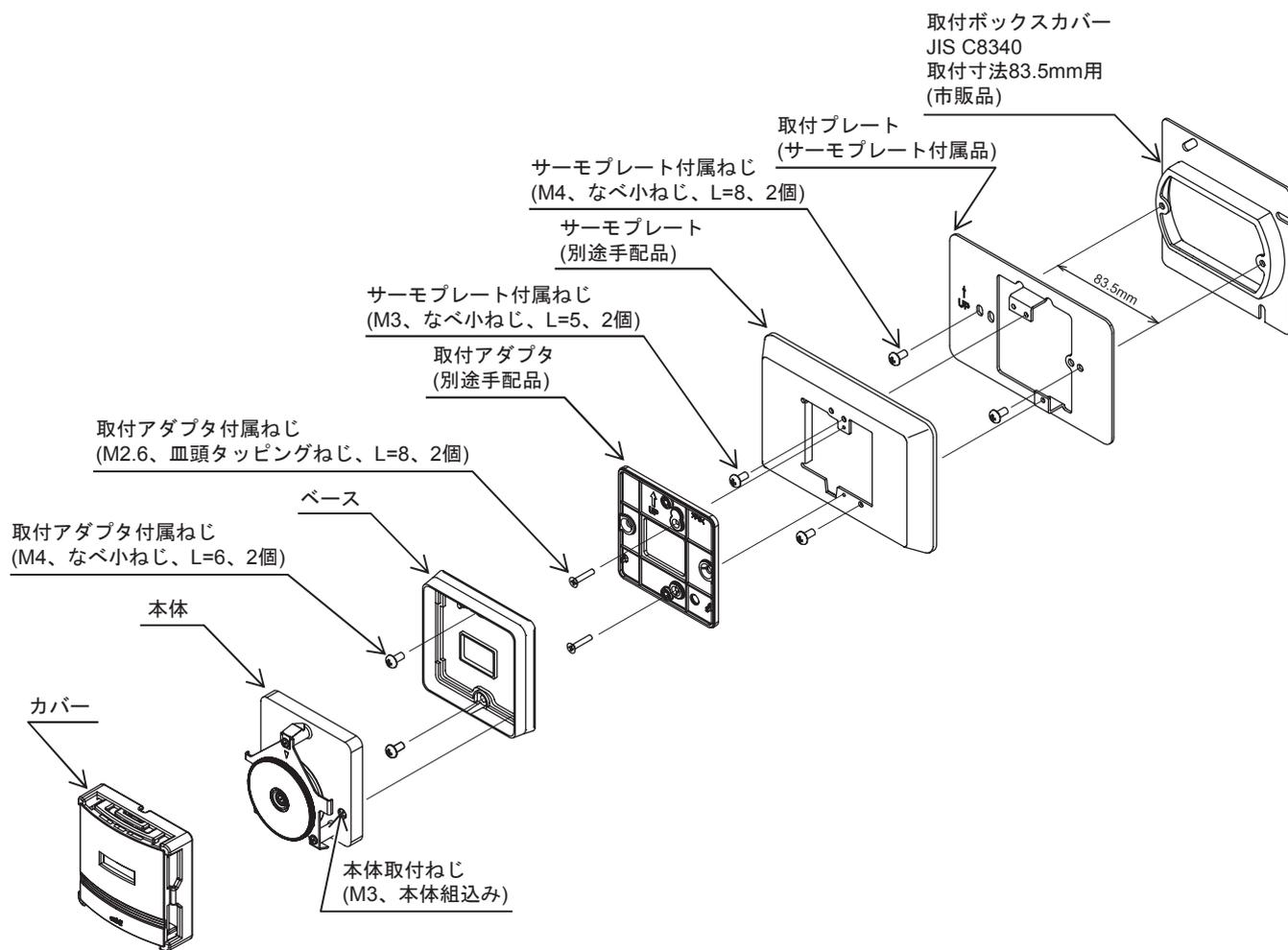


図8 サーマプレート取付

«マルチサーモケース取付»

マルチサーモケース機器取付板の「間隔66.7mm」の穴を使って、ネオスタットを次の手順で組み付けます。

- (1) 取付アダプタをマルチサーモケースの機器取付板にマルチサーモケース付属のねじ 2本(M3、なべ小ねじ、L=6mm)で取り付けます。
- (2) ネオスタットのカバーを外します。
(参照)『●カバーの着脱』
- (3) 本体取付ねじを緩め、ガイド板を持って本体をベースから引き出します。
このとき、ダイヤルつまみを持って、本体を引き出さないでください。
- (4) ベースを取付アダプタに「UPの矢印」が上を向くようにし、「取付アダプタ付属のねじ 2本(M4、なべ小ねじ、L=6mm)」で取り付けます。
* ネオスタット付属のねじ(M4、なべ小ねじ、L=10mm)は、使用しないでください。
- (5) 『■結線』に従って結線します。
- (6) 本体をベースに組み付け、本体取付ねじを締め付けます。
- (7) マルチサーモケースのカバーを取り付けます。
* マルチサーモケースに取り付けたときは、ネオスタットのカバーを外して使用します。

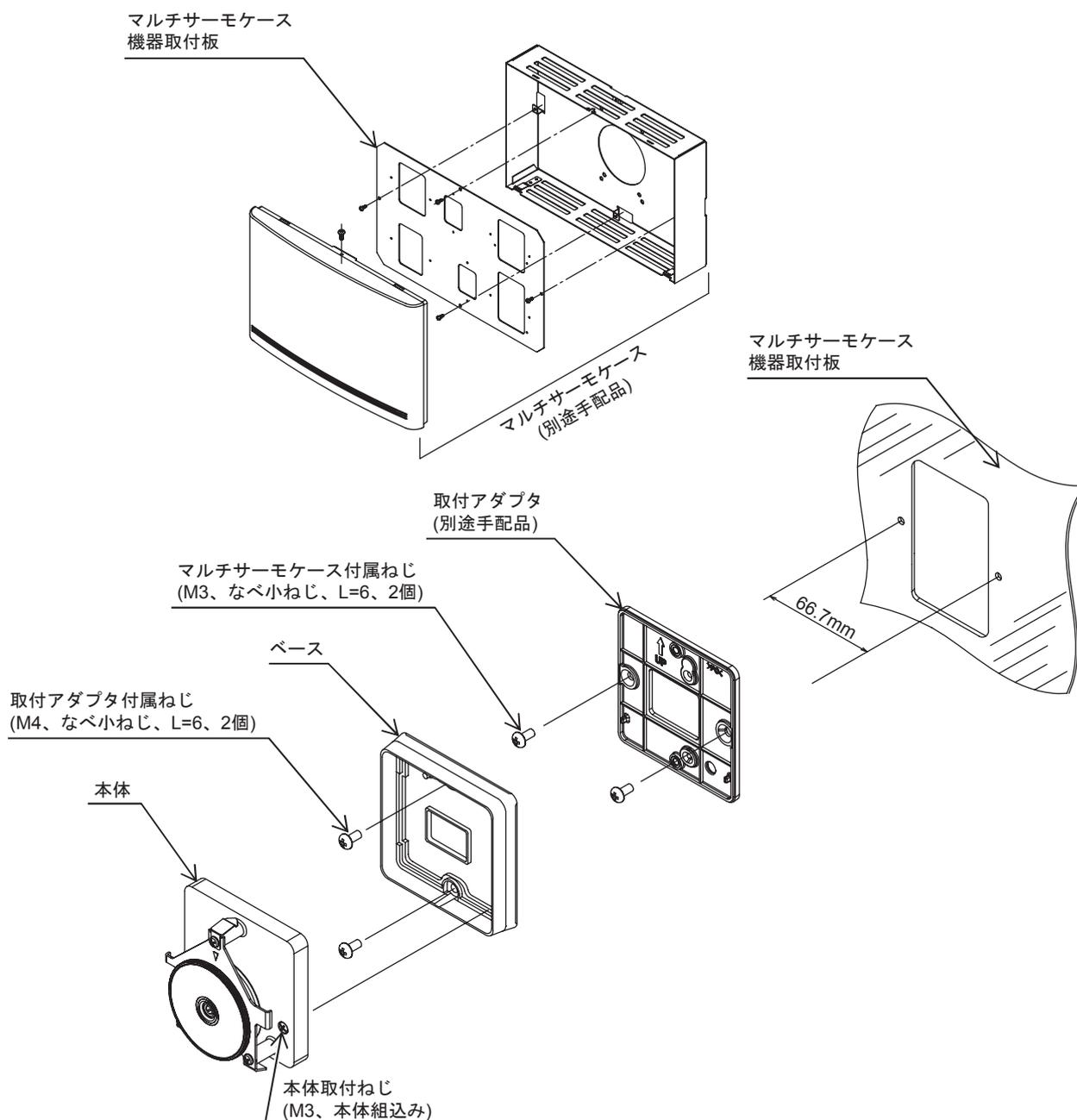


図9 マルチサーモケースへの取付

■ 結 線

⚠ 警 告

! 結線は、給電元の電源を切った状態で行ってください。
感電や故障のおそれがあります。

⚠ 注 意

! 本製品は、本説明書に記載された仕様範囲内で結線し、運用してください。
火災や故障のおそれがあります。

! 結線は、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。
施工を誤ると、火災や感電のおそれがあります。

! 配線については、電気設備技術基準、内線規程などに従って施工してください。
施工を誤ると、火災のおそれがあります。

形番TTY6023Z2000はリード線接続タイプ、それ以外の形番は端子台接続です。

- 端子台への接続は、M4サイズの圧着端子を使用してください(締め付けトルク：0.785N・m)。
- 外線は、1.25mm²以上のより線の絶縁被覆軟銅線を使用してください。
- リード線同士の接続は、絶縁被覆付の圧着スリーブを使用してください。
- 外線の接続を正しく行ってください。
- 結線後、接続部にゆるみがないことを確認してください。

⚠ 注 意

! 端子台に接続する場合は、絶縁被覆付き圧着端子を使用してください。
絶縁被覆がないと、短絡して火災や故障のおそれがあります。

! 端子ねじは、規定のトルクで締めてください。
締め付けが不完全だと、火災や発熱のおそれがあります。

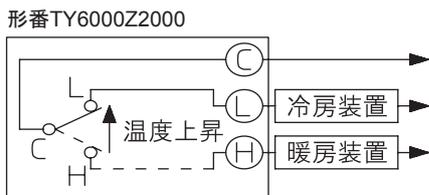


図10 結線図 形番TY6000Z2000

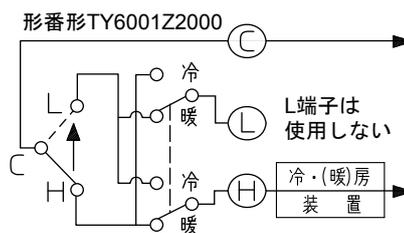


図11 結線図 形番TY6001Z2000

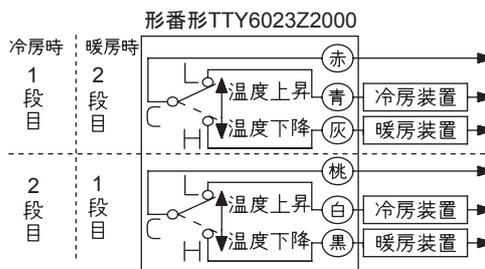


図12 結線図 形番TTY6023Z2000

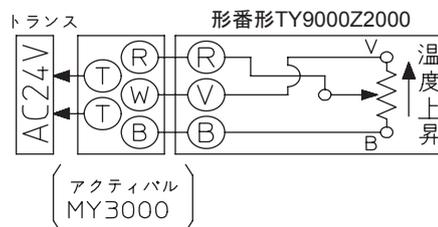


図13 結線図 形番TY9000Z2000

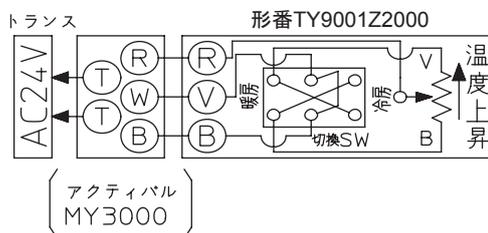


図14 結線図 形番TY9001Z2000

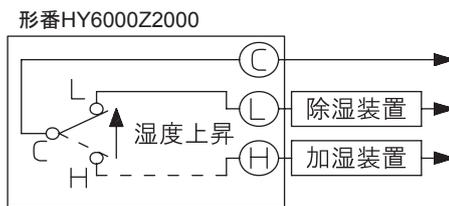


図15 結線図 形番HY6000Z2000

⚠ 警 告

! 結線作業後、カバーを元に戻してください。
カバーをしないと、感電のおそれがあります。

● 外線接続

重要!! ●2位置式調節器の接点に接続する負荷容量は、定められた定格の範囲内としてください。
定格より大きな負荷を接続すると、接点が溶着し、出力が切り替わらなくなる場合があります。

《室内形温度調節器》

- 形番TY600*Zは、2位置式1段の温度調節器です。
- 電動機、電気ヒータ、電磁弁、補助リレーなどをON/OFF制御できます。
- 形番TTY6023Zは、2位置式2段の温度調節器です。
パッケージ形空調機、電動機、電気ヒータなどを2段階でON/OFF制御できます。
- 形番TY900*Zは、比例式の温度調節器です。
弊社コントロールモータ(形番MY3000)、アクティバル(形番VY512*、形番MY532*)を接続し、バルブやダンパなどを比例制御できます。
* モジュトロールモータは、接続できません。

重要!! ●形番TY900*Zを記載形番以外の製品へ接続を希望する場合は、弊社販売員にご確認ください。

《室内用湿度調節器》

- 形番HY6000Zは、2位置式1段の湿度調節器です。
電磁弁、補助リレーなどをON/OFF制御できます。

● スイッチの動作

表1 温度 2位置式1段

形番	動作	接点		冷暖切替スイッチ
		L-C間	H-C間	
TY6000Z2000	冷房	閉	開	-----
	暖房	開	閉	-----
TY6001Z2000	冷房	-----	閉	冷房側
	暖房	-----	閉	暖房側

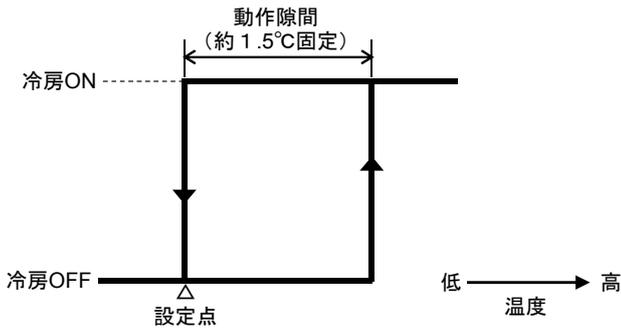


図16 形番TY600*Z2000のスイッチ動作図(冷房)

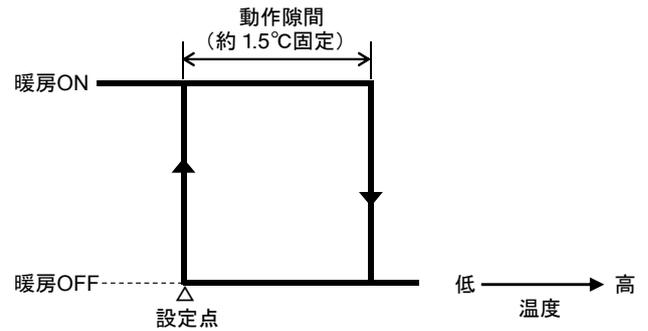


図17 形番TY600*Z2000のスイッチ動作図(暖房)

表2 温度 2位置式2段

形番	動作	接点			
		青-赤	灰-赤	白-桃	黒-桃
TTY6023Z2000	冷房(1段)	閉	開	-----	-----
	冷房(2段)	閉	開	閉	開
	暖房(1段)	-----	-----	開	閉
	暖房(2段)	開	閉	開	閉

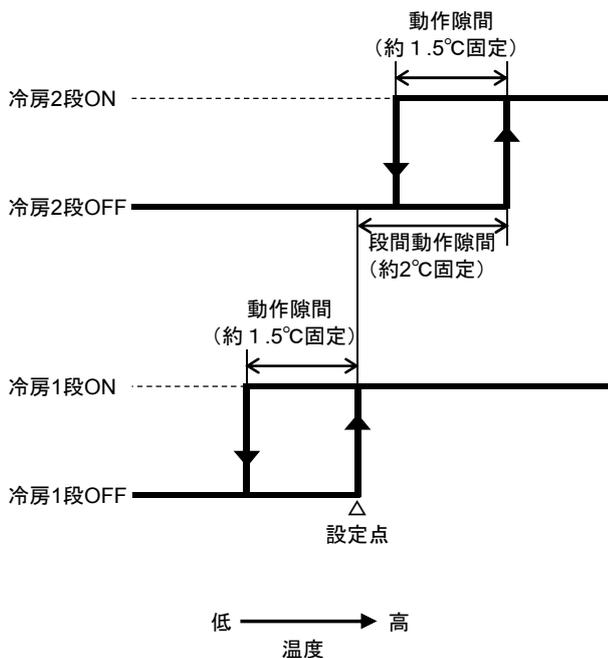


図18 形番TTY6023Z2000のスイッチ動作図(冷房)

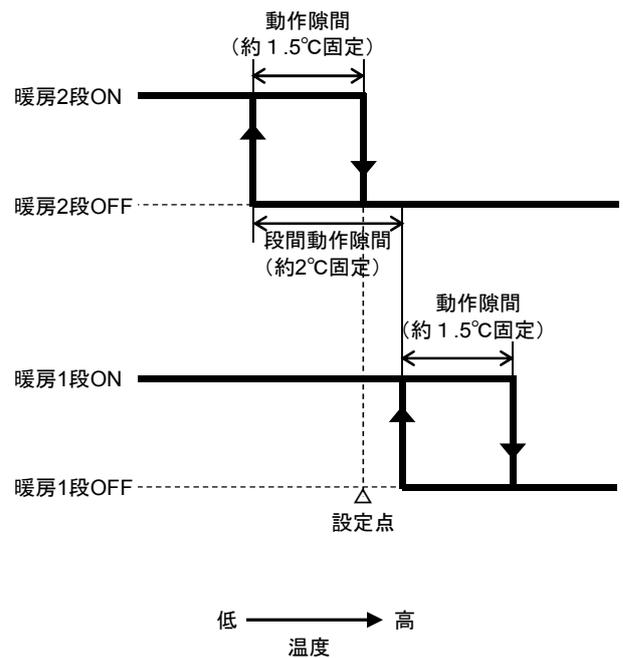


図19 形番TTY6023Z2000のスイッチ動作図(暖房)

表3 湿度 2位置式1段

形番	動作	接点	
		L-C間	H-C間
HY6000Z2000	加湿	開	閉
	除湿	閉	開

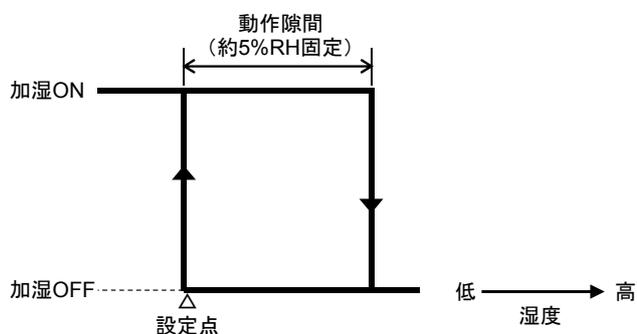


図20 形番HY6000Z2000のスイッチ動作図(加湿)

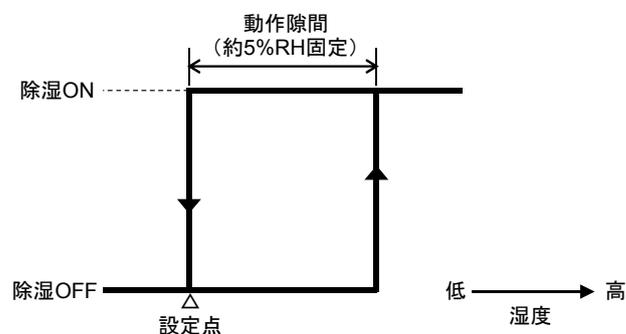


図21 形番HY6000Z2000のスイッチ動作図(除湿)

■ 設定

● 温度調節器

《冷暖切替(形番TY6001Z/形番TY9001Z)》

- (1) ネオスタットのカバーを外します。
(参照)『●カバーの着脱』
- (2) 本体に表示された「冷・COOL」、または「暖・HEAT」に切替スイッチをセットしてください。

* 装置運転中は、冷/暖切替操作を行わないでください。

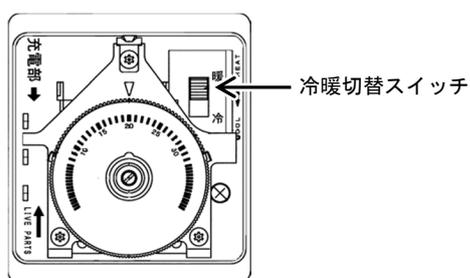


図22 冷/暖切替スイッチ(形番TY6001Z / 形番TY9001Z)

- (3) ネオスタットのカバーをはめます。

《設定の上・下限ストップ》

本製品は、ダイヤル部の設定ロックつめにて、設定値の上下限範囲を調節できます。

- (1) ネオスタットのカバーを外します。
(参照)『●カバーの着脱』
- (2) 設定ロックつめを軽く押し込み、矢印の方向に動かして希望の可変範囲で設定ロックつめをセットします。



図23 温度調節器 設定値の上下限ストップ

- (3) ネオスタットのカバーをはめます。

《設定値固定》

設定を変更できないように固定(ロック)できます。

- (1) ネオスタットのカバーを外します。
(参照)『●カバーの着脱』
- (2) 指針が希望の設定値を指すよう、設定ダイヤルを回します。
- (3) 軽く押し込み、中央にセットします。

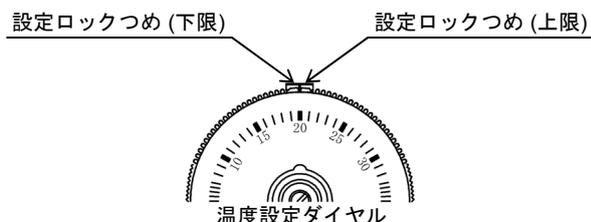


図24 温度調節器の設定値固定

- (4) ネオスタットのカバーをはめます。

●湿度調節器(形番HY6000Z)

出荷時は、設定値が90%RHで固定されています。

重要!! ●低湿度環境では、設定値を変更しないでください。
計測原理の都合上、低湿度環境下では想定した設定値にならないことがあります。

《設定値固定》

- (1) ネオスタットのカバーを外します。
(参照)『●カバーの着脱』
- (2) 設定ダイヤルの固定ねじを緩めます。
- (3) 指針が設定値を指すように設定ダイヤルを合わせ、設定ダイヤル部のねじを締め付け設定を固定します。

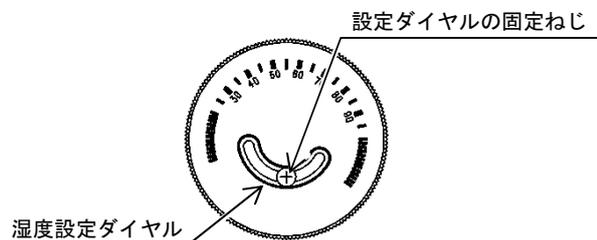


図25 湿度調節器の設定値固定

- (4) ネオスタットのカバーをはめます。

■保守

⚠ 警告



保守は、給電元の電源を切った状態で行ってください。
感電や故障のおそれがあります。

⚠ 注意



本製品を分解しないでください。
感電したり、故障するおそれがあります。

●養生

動物飼育室や手術室などに取り付けられている場合に、その室内を消毒するときは、養生カバー(別途手配品)を着けてください。

- 養生カバーは、消毒液が乾燥してから外してください。
ケースに消毒液が付着すると、ケミカルクラックが発生するおそれがあります。
- 養生カバーを外すときは、ゆっくりとまっすぐに外してください。
上下左右に過度な力を加えたり、急激に引き抜いたりすると、養生カバーを固定している爪が破損することがあります。

⚠ 警告



保守作業後、カバーを元に戻してください。
カバーをしないと、感電のおそれがあります。

■廃棄

本製品が不用になったときは、産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。
また、本製品の一部または全部を再利用しないでください。

本ページは、編集の都合により追加されている白紙ページです。

アクティバル、ネオスタート、ネオセンサはアズビル株式会社の商標です。

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー

azbil

[ご注意] この資料の記載内容は、予告なく変更する
場合もありますのでご了承ください。

お問い合わせは、コールセンターへ

0120-261023

<https://www.azbil.com/jp/>

ご用命は、下記または弊社事業所までお願いします。